

[第 35 回定時株主総会 主な質疑応答 (要旨)]

- Q1. 遊技機価格が高騰することで、パチンコホールが購入できずに販売台数が昔よりも少なくなっているのではないかと伺いたい。今後の販売価格戦略について伺いたい。
- A1. フィールズはディストリビューターであって、当社に価格決定権はない。現在はホールの大型化が進む一方で軒数は減少傾向にあるが、市場の競合環境の中で遊技機価格が決定されていると考えている。
- Q2. エヴァンゲリオンシリーズはとても魅力的であり、皆が期待している。他社シリーズ機のスマスロで初代回帰により成功した事例があるが、エヴァンゲリオンシリーズも初代の復刻版を出す予定はあるか。
- A2. 貴重なご意見として承り、今後検討させていただく。
- Q3. ウルトラマン IP の中国展開について、2023 年 3 月期はトレーディングカードの販売が業績を牽引したが、2024 年 3 月期はどのような商品カテゴリが拡大していくのか。また、中国におけるコロナ拡大などのリスクがあれば考え方を伺いたい。
- A3. ウルトラマン人気を背景に拡大・構築した販路に対し、代理店を通じトレーディングカードを流通させた。現在展開しているトレーディングカードはコレクション要素が強いが、第二弾、第三弾と、独自のゲーム性を備えた商品も企画し、中国のみならず、アジアや日本、北米にも展開していきたい。コロナの再拡大や景気後退などが報道されているが、現時点で業績への大きな影響は見られない。
- Q4. 御社が新台を販売・納品した後、入れ替えられた古い遊技機はどうなるのか。
- A4. 例えば、当社のプライベートブランド製品については、古い遊技機を買い取り、次機種種の開発のために再利用している。再利用できないものは、業界団体が推奨する方法に則り、適正に処理している。
- Q5. (株) サンリオや (株) オリエンタルランドのように、ウルトラマン以外の IP を保有・拡充させるため、他の IP を保有している企業を買収していく等の計画はあるのか。
- A5. (株) 円谷プロダクションでは、ウルトラマン以外に、怪獣等も合わせ、1,500 以上の IP を保有している。まずは、グリッドマンをはじめ、保有 IP の展開を検討していくが、もしご縁があれば、当然買収等も検討していく。
- 中国で展開するウルトラマンエリアは日本との人口比も考慮すると、10 カ所程度の展開が望ましいと考えており、中期経営計画期間中での実現を目指す。将来的には東

京ディズニーランドと同程度の入場者数をウルトラマンエリア全体で達成したい。ご指摘の企業の時価総額は当社よりも大きいですが、まずは(株)サンリオ様、次に(株)オリエンタルランド様の時価総額を時間がかかると思うが目指していきたい。

- Q6. 四半期決算毎に機関投資向け説明会を実施しており、後日、決算関連資料等の公開をしているが、可能であれば個人投資家にも説明会動画等を共有してほしい。
- A6. 株式分割の実施後、個人株主数が圧倒的に増加している。当社としては今後も多くの方々に当社株式を保有していただけるような取り組みを進めていく中で、情報提供の方法も検討していきたい。
- Q7. ウルトラマンもパチンコも大ファンだが、「シン・ウルトラマン」のパチンコ台を販売して欲しい。ウルトラマンもパチンコも日本固有の文化なので、もっと遊技機業界が良くなるようにコンテンツを活用して欲しい。
- A7. 貴重なご意見として承る。戦後復興や高度成長期は、休んだり遊んだりすることは良くないことだと捉えられてきた。歴史を振り返ると、国が発展し文化的になり、これまで悪い遊びと言われていた映画、ボーリング、マンガやアニメ等は普通の遊びや、場合によっては良い遊びと言われるようになったりと、レジャーの考え方は時代とともに変わってきた。パチンコ・パチスロの捉えられ方も変化していくと思われるが、使用されるコンテンツが、パチンコ・パチスロをきっかけに広がり、多くの方々に貢献できれば素晴らしい。
- 厳しい冬の時代を経て、当社グループはようやく株主の皆様と一緒に夏を迎えようとしている。素晴らしい日本のコンテンツを日本の皆様に更に楽しんでいただき、更にアジアの方々にも誇れるコンテンツとして拡大していきたい。

※本株主総会の議案に関するご質問およびご意見・ご要望等のみ抜粋しております。